

通巻850号を迎えてー第7代編集委員エッセイ

Modern Media



One Healthの時代に求められる 情報のアップデートのために

日本大学生物資源科学部 獣医学科
獣医食品衛生学研究室 教授かべ や ひで のり
壁 谷 英 則

Hidenori KABEYA

2025年度（第71巻）より、「話題の感染症（人と動物の共通感染症）」、「話題の感染症（動物の感染症）」、「食の安全・安心にかかわる最近の話題」を主に担当させていただいています。これら3つのテーマは、現在大きく注目されている“One Health”に直接関わる重要なテーマであると同時に、実際に現在進行形で新しい問題が発生し、日々のニュースで取り上げられる機会も増え、社会的な関心が高まっている領域であることを実感しています。

「話題の感染症（人と動物の共通感染症）」は、インフルエンザやCOVID-19など、近年特に大きな話題となる感染症の多くが含まれており、「既知の感染症の60%以上が人獣共通」であることは広く認識されるようになりました。2025年度に限っても、国内初となる重症熱性血小板減少症候群ウイルスの人から人への感染事例以降、医療現場、獣医療現場での感染が相次いで報告され、大きな議論となりました。日本各地の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いで報告され、米国では乳牛から、国内では北海道根室市で回収されたゼニガタアザラシからも、それぞれ感染が確認され大きな話題となりました。妊婦に発生したオウム病の重症化事例では、公園の砂場やベランダの鳥の糞など、環境からの感染が問題となりました。他にも、「沖縄などの亜熱帯地域に特有の感染症」、「山間部でのレジャーに伴う感染症」と思われていたレプトスピラ症が、神奈川県の高齢犬で発生し、都市部での感染事例として注目されました。インド、バングラデシュで断続的に発生し

たニパウイルス感染症や、2026年5月には、大西洋を航行中のクルーズ船でハンタウイルスの集団感染が発生するなど、現在もなお日々新たな脅威が国内外から続々と報告されています。今後も人獣共通感染症は、私たち人類の大きな脅威であり続けることでしょう。本誌でも、引き続き機を逸せずその折々の話題の人獣共通感染症を取り上げてまいりたいと思います。

「動物の感染症」は、多くの本誌読者の皆さまにとってはあまり馴染みがないかもしれませんが。近年では、特に豚熱が社会的にも大きな話題となっています（本誌第71巻（2025年）11月号、山本健久先生、第72巻（2026年）3月号、平田滋樹先生）。2018年9月、岐阜県の養豚場で26年ぶりに発生が確認され、養豚業界に深刻な影響をもたらしました。今回の流行では、野生イノシシがウイルスを運び、山を越えて他県の養豚場へ感染を広げています。その他にも、犬の肝炎ウイルスも大きな話題となっています。従来、犬の肝炎はアデノウイルスによるものが一般的な認識でしたが、近年、原因が特定できない特発性とされてきた犬の慢性肝炎の一部は、ヘパドナウイルスによるものであったことが国内外で報告されています。人のB型肝炎と類似した病態を示す可能性があり、大きな注目を集めています。動物の感染症も人獣共通感染症と同様、現在もなお日々新しい話題には事欠きません。動物医療関係者のみならず、多くの読者の皆さまにとっても興味深い話題を提供していきたいと考えています。

「食の安全・安心にかかわる最近の話題」では、

汚染源となる食品や病因物質の多様化が進んでいます。令和7年度の厚生労働省の食中毒統計では、アニサキス（280件）による食中毒がノロウイルス（462件）に次いで2番目に多くの事件数が記録され、もはや細菌性食中毒全体の事件数（315件）に迫る事件数となっています。汚染源となった食品についても、2023年、石川県で発生した「湧き水に起因したカンピロバクター食中毒」では、野生動物が水源を汚染して発生した可能性が疑われた事例（本誌第71巻（2025年）10月号、北川恵美子先生）や、野生鹿や猪の食用利用に伴った腸管出血性大腸菌 O157 や E 型肝炎などによる食中毒事

例など、原因食品の多様化を示す事例が報告されています。2025年は鹿やイノシシに加え、熊が人家周辺に出没する事例が社会的にも大きく取り上げられ、大きな問題となっています。現在はまだその数は多くありませんが、鹿肉、猪肉に続いて熊肉の食用利用が進められ、今後、私たちはまた新たなリスクに直面するかもしれません（写真1, 2）。

これからも編集担当として、現在進行形の人、動物、食に関する「話題の感染症」に注視し、今必要で確かな情報を発信し、読者の皆さまの“One Health の時代に求められる情報のアップデート”に貢献できるよう、努めてまいります。



写真1 筆者が実際に食した「熊肉の串焼き」



写真2 （筆者は食すことのない）高級食材として利用される「熊掌」（ゆうしょう）